

# 健康通信

## がんの痛みと医療用麻薬



▲薬局 主任薬剤師 緩和薬物療法認定薬剤師 平野茂樹

### 痛みの治療は早めに

もし自分や自分の家族ががんになり、そのがん起因する痛みを感じたらどうしますか？

日本には「我慢することは美德」とする文化がありますが、痛みを我慢しすぎることによって夜間眠れなくなったり、食欲がなくなったりするほか、気持ちの面でもつらくなりま

## 市民病院より

に推奨されています。

### 医療用麻薬による痛みの治療法

がんの痛みの治療には放射線治療や神経ブロックなどがありますが、欠かせないのは医療用麻薬です。

医療用麻薬による治療には「WHO方式がん疼痛治療法」と呼ばれる世界的に最も効果的で安全な治療法があります。

この方法では、痛みの強さに従って段階的に鎮痛薬を使用します。強い痛みにはモルヒネなどの医療用麻薬が使われます。当院でもこの治療法を行っています。

### 医療用麻薬の種類には

主な医療用麻薬には、歴史の古いモルヒネをはじめ、オキシドロン、フエンタニルという3種類があり、飲み薬、坐薬、貼り薬、注射薬があります。

これらの薬は、患者さんの状態や生活などに合わせて調整を行います。

### 医療用麻薬の誤解をなくしましょう

「モルヒネ」や「麻薬」という言葉を聞くと、「中毒」「命が縮む」「最

問合先 市民病院（☎76・4131）

後の手段「段々効かなくなる」といった誤ったイメージを多くの方が持たれているのではないのでしょうか。

その大きな要因は、「医療用麻薬はなるべく使わない方がよい危険な薬」として取り扱われ、がんの末期にしか使われなかった過去の日本の誤った医療用麻薬の使い方にあります。

さまざまな研究からがんの痛みの治療には、モルヒネなどの医療用麻薬による治療が最も効果的であり、適切に使用すれば、「中毒」「命が縮む」などは起こらないことが明らかになっています。現在では、「医療用麻薬はがんの痛みに積極的に使用すべき安全な薬」です。

### おわりに

今回、がんの痛みと医療用麻薬についてお伝えしました。痛みでお困りの方や医療用麻薬についてご質問やご相談がある方は、気軽に薬剤師をはじめ医療スタッフに声をかけください。痛みで苦しむ患者さんが1人でも少なくなるように支援させていただきます。

## ◆お知らせ

### 助産師・看護師募集

#### ■嘱託職員

勤務 月々金曜日午前8時30分～午後5時

対象 助産師、看護師免許取得者  
月給 27万円（一時金なし）

#### ■臨時職員

勤務 月々金曜日午前8時30分～午後4時30分（時間は応相談）

対象 助産師、看護師免許取得者  
時給 1,500円（一時金なし）

#### ■人員 若干名

#### ▼勤務開始日 11月4日(火)

▼申込み 9月30日(火)（必着）までに、臨時・嘱託いずれかを記入した履歴書（写真貼付）、資格免許証の写しを郵送または直接病院総務課（〒485-8520住所不要）

※後日面接あり

